

受益者の皆様

アムンディ・ジャパン株式会社

投資対象とするファンドの運用管理費用引上げについてのお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社が運用を行っている以下の投資信託（以下「該当ファンド」といいます。）につきまして、投資対象とするファンドの一部において運用管理費用が2023年2月中を目途^{※1}に引上げとなる予定です。その結果、該当ファンドの一部については、お客様に実質的にご負担いただく運用管理費用の上限^{※2}についても上昇する予定ですのでお知らせいたします。

※1 引上げの時期については、今後変更となる可能性があります。

※2 該当ファンドの運用管理費用に投資対象ファンドの運用管理費用のうち最大のものを加算したものの。

■投資対象ファンドの運用管理費用が引上げとなる結果、お客様に実質的にご負担いただく費用の上限が上昇するファンド（詳細については別紙をご参照ください）。

ファンド名称	運用管理費用の 実質的な負担の上限* (税込、年率)	
	変更後	変更前
① アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド（愛称：みらい定期便）	1.63%	1.58%
② アムンディ・ストラテジック・インカムファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型） アムンディ・ストラテジック・インカムファンド（為替ヘッジあり／年2回決算型） アムンディ・ストラテジック・インカムファンド（為替ヘッジなし／毎月決算型） アムンディ・ストラテジック・インカムファンド（為替ヘッジなし／年2回決算型） （愛称：ボンドアクセル）	1.812%	1.762%
③ アムンディ・毎月分配ユーロ債券ファンド（愛称：ユーロ ブーケ）	1.21%	1.16%
④ アムンディ・リそなワールド・セレクト・ファンド（愛称：リそなオールスター）	2.21%	2.16%
⑤ アムンディ・マルチセクター債券ファンド2020-12（限定追加型） （愛称：ブレンド・ボンド2020-12）	1.603%	1.553%

*上記各ファンドの運用管理費用に上記各ファンドが投資対象とする投資信託証券のうち運用管理費用が最大のものを加算しています。

■投資対象ファンドの運用管理費用が引上げとなるものの、お客様に実質的にご負担いただく費用の上限に変更はないファンド（詳細については別紙をご参照ください）。

ファンド名称	運用管理費用の 実質的な負担の上限* (税込、年率)	
	変更後	変更前
⑥ アムンディ・米国・ユーロ投資適格債ファンド（愛称：リそな ペア・インカム）	1.463%	1.463%
⑦ アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンド（愛称：リそな ペア・ハイ インカム）	1.80%	1.80%

*上記各ファンドの運用管理費用に上記各ファンドが投資対象とする投資信託証券のうち運用管理費用が最大のものを加算しています。

■引上げの背景

該当ファンドは、ルクセンブルク籍の会社型投資信託である「Amundi Funds」の各サブファンドを投資対象としています。この度、Amundi Fundsの管理会社より、各サブファンドから支払われる運用管理費用のうち、アドミニストレーション・フィー（管理費用／管理会社費用、保管費用、監査費用、届出関係費用等が含まれます。）の料率を引上げる、との連絡がありました。この費用の引上げは、世界的なインフレにともなう諸費用の増加や、SFDR^{※3}のような新たな規制等に対応する費用が増えている事が主な要因となります。なお、本料率の引上げは該当ファンドの運用方針に影響、変更を与えるものではございません。

※3「サステナビリティ関連情報開示規則」(Sustainable Finance Disclosure Regulation)。欧州連合(EU)の金融市場参加者等に対して適用されます。

■運用管理費用の変更時期と新料率の適用開始日のお知らせ方法について

一般の運用管理費用の引上げは、ルクセンブルク当局の承認を2023年1月中に見込んでおり、承認の約1ヵ月後の2月中に新たな料率が適用される予定です。新しい料率の適用開始日については、決定後に弊社ホームページにてお知らせいたします。

なお、運用管理費用の引上げに伴い受益者の皆様にお手続きいただく必要はございません。

何卒、ご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

【本件に関するお問い合わせ先】

本件に関するお問い合わせは、ご購入された販売会社または委託会社の照会先へお願いいたします。

アムンディ・ジャパン株式会社 お客様サポートライン:050-4561-2500

受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページアドレス：<https://www.amundi.co.jp>

【別紙】

■投資対象ファンドの運用管理費用が引上げとなる結果、お客様に実質的にご負担いただく費用の上限*が上昇するファンド

*運用管理費用の実質的な負担の上限は、各ファンドの運用管理費用に各ファンドが投資対象とする投資信託証券のうち運用管理費用が最大のものを加算しています。

① アムンディ・サステナブル・インカム・ファンド（愛称：みらい定期便）

		変更後 (年率、税込)	変更前 (年率、税込)
運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	0.88%	0.88%
	投資対象とする 投資信託証券	0.75%	0.70%
	CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	0.385%以内	0.385%以内
	実質的な負担の上限	1.63%	1.58%

② アムンディ・ストラテジック・インカムファンド（為替ヘッジあり／毎月決算型）
 アムンディ・ストラテジック・インカムファンド（為替ヘッジあり／年2回決算型）
 アムンディ・ストラテジック・インカムファンド（為替ヘッジなし／毎月決算型）
 アムンディ・ストラテジック・インカムファンド（為替ヘッジなし／年2回決算型）
 （愛称：ボンドアクセル）

		変更後 (年率、税込)	変更前 (年率、税込)
運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	1.232%	1.232%
	投資対象とする 投資信託証券	0.58%以内	0.53%以内
	CAマネープールファンド（適格機関投資家専用）	0.385%以内	0.385%以内
	実質的な負担の上限	1.812%	1.762%

③ アムンディ・毎月分配ユーロ債券ファンド（愛称：ユーロ ブーク）

		変更後 (年率、税込)	変更前 (年率、税込)
運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	0.66%	0.66%
	投資対象とする 投資信託証券	0.55%	0.50%
	Amundi Funds ユーロ・コアボリート・ボンド	0.55%	0.50%
	実質的な負担の上限	1.21%	1.16%

④ アムンディ・りそな ワールド・セレクト・ファンド (愛称：りそなオールスター)

		変更後 (年率)	変更前 (年率)	
運用管理費用 (信託報酬)	ファンド (税込)	1.21%	1.21%	
	投資対象とする 投資信託証券	Amundi Funds ジャパン・エクイティ・バリュー	0.95%以内	0.90%以内
		Amundi Funds サステナブル・トップ・ヨーロッパ・プレイヤーズ	0.85%以内	0.80%以内
		フィデリティ・US エクイティ・インカム・ファンド (適格機関投資家専用)	0.72% (税抜)	0.72% (税抜)
		Amundi Funds チャイナ・エクイティ	1.00%以内	0.95%以内
		Amundi Funds SBI FM インディア・エクイティ	0.85%以内	0.85%以内
		GIMエマージング株式ファンドF (適格機関投資家専用)	0.86% (税抜)	0.86% (税抜)
		CA外国債券ファンドVAT (適格機関投資家限定)	0.37% (税抜)	0.37% (税抜)
		ドイチェ・米国投資適格社債ファンド (適格機関投資家専用)	0.55% (税抜)	0.55% (税抜)
		Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド	0.55%	0.50%
		TCWファンズ-TCWハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド	0.70%	0.70%
		Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド	0.65%	0.60%
		GIM FOFs用新興国ソブリン・オープンF (適格機関投資家専用)	0.61% (税抜)	0.61% (税抜)
		CAグローバルREITマザーファンド	-	-
		iShares Global Inflation Linked Govt Bond UCITS ETF	0.20%	0.20%
		iShares Diversified Commodity Swap UCITS ETF	0.19%	0.19%
		JPモルガン ファンズ グローバル・コンバーティブルズ ファンド (ユーロ)	0.95%以内	0.95%以内
		実質的な負担の上限 (税込)		2.21%

⑤ アムンディ・マルチセクター債券ファンド2020-12 (限定追加型)
(愛称：ブレンド・ボンド2020-12)

		変更後 (年率、税込)	変更前 (年率、税込)	
運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	0.803%	0.803%	
	投資対象とする 投資信託証券	Amundi Funds パイオニア・ストラテジック・インカム-12 USD QD	0.80%以内	0.75%以内
		CAマネープールファンド (適格機関投資家専用)	0.385%以内	0.385%以内
	実質的な負担の上限		1.603%	1.553%

■投資対象ファンドの運用管理費用が引上げとなるものの、お客様に実質的にご負担いただく費用の上限*に変更はないファンド

*運用管理費用の実質的な負担の上限は、各ファンドの運用管理費用に各ファンドが投資対象とする投資信託証券のうち運用管理費用が最大のものを加算しています。

⑥ アムンディ・米国・ユーロ投資適格債ファンド（愛称：りそな ペア・インカム）

		変更後 (年率、税込)	変更前 (年率、税込)	
運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	0.858%以内	0.858%以内	
	投資対象とする 投資信託証券	ドイツ・米国投資適格社債ファンド（適格機関投資家専用）	0.605%	0.605%
		Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド	<u>0.55%</u>	<u>0.50%</u>
		Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド	<u>0.55%</u>	<u>0.50%</u>
	実質的な負担の上限		1.463%	1.463%

⑦ アムンディ・米国・ユーロ高利回り債ファンド（愛称：りそな ペア・ハイ インカム）

		変更後 (年率、税込)	変更前 (年率、税込)	
運用管理費用 (信託報酬)	ファンド	1.1%以内	1.1%以内	
	投資対象とする 投資信託証券	TCWファンズ-TCWハイ・イールド・サステナブル・ボンド・ファンド	0.70%	0.70%
		Amundi Funds ユーロ・ハイ・イールド・ボンド	<u>0.65%</u>	<u>0.60%</u>
	実質的な負担の上限		1.80%	1.80%

以上